



世界に希望を生み出そう

高岡  
北  
ロータリークラブ  
TAKAOKA-NORTH  
ROTARY CLUB



例会日・毎週月曜日 12:30～13:30	創立・1980年5月19日	会長 魚住 晃一
例会場・ホテルニューオータニ高岡	認証・1980年6月12日	幹事 水原 延幸
	国内創立順位・1489	公共イメージ委員長 島 幸美

## 第1925回 例会 3月 11日 (月)



### ◇点 鐘

### ◇ソング “奉仕の理想”

### ◇ゲスト並びにピシターの紹介

ゲスト：NPO 法人アレッセ高岡

理事長 青木 由香 様

### ◇会長挨拶並びに報告

皆さんこんにちは。昨日、小矢部中ロータリークラブの40周年式典とパーティーに参加してきました。その際に花をいただき、青木様にプレゼントしようと思います。40周年ということで、市長も参加され、盛大に行っていました。いろいろなアトラクションもあり、最後に会員の生バンドで盛り上がっていました。

今日は、3月11日ということで、東日本大震災があった日です。13年経ちました。ニュースでは、時間が経てば気持ちがおさまる人もいれば、その時のことを話したくない、話せないという人も約1%いらっしゃるそうです。道や建物といったハード面では復興していますが、心の面であるソフト面は13年経っても爪痕を残しています。これから石川県の方も復興はすると思いますが、精神的な分はもっとかかるだろうと思います。その面を、東日本大震災や阪神淡路大震災の経験を活かして石川県の方には早く立ち直ってほしいと思いました。

今日は、青木様から卓話をさせていただきます。よろしくお願いいたします。

### ◇幹事報告

- 1) 本日例会終了後、現・次期合同理事会を開催します。
- 2) 次回3月18日(月)は例会取消となっております。また、再来週3月25日(月)例会は、山辺会長エレクト担当の「PETS 報告」となります。
- 3) 配布：①4/8(月) 観桜例会のご案内  
②5/18(土) 5RC 合同懇親ゴルフ大会のご案内
- 4) 回覧：①会報 NO.28

### ◇ニコニコBOX 報告

魚住 会長：青木さん、本日卓話よろしくお願ひします。

みなさん、寒暖の差がひどいので、体調管理に気を付けてください。

水原 幹事：先週一週間は引っ越しの片付けで終わっていた感じです。今日からはまじめに仕事をしていきますので、今後ともよろしくお願ひします。

勝山 功君：鳥山明先生のご冥福を祈って。

40年前、息子と競って少年ジャンプの Dr.スランプ アラレちゃんを読んでいました。

野尻信晴君：オレオレサギに引っかかる前に孫娘に祝い金を渡さなくてワ。

新原俊夫君：双子の孫が国立大学の医学部に二人共見事に合格しました。

山辺知代君：結婚記念日のお祝いのお花、ありがとうございました。

吉谷奈艶子君：誕生日祝いをいただきました。誕生日は14日木曜日です。まだまだプレゼント受付中です。

22日からインターアクト台湾研修に引率で行くため、25日欠席です。楽しんできます！

【今年度ニコニコBOX 累計額 311,000円】



### ◇出席報告 出席者 22名 メイクアップ済 0名

名誉会員	会員数	本日の出席率	2/26 例会 修正出席率
1名	32名	84.62 %	80.77 %



## ◇本日のプログラム（担当：環境保全）

### 卓話「アレッセ高岡の活動について」

NPO 法人アレッセ高岡 理事長 青木 由香 様

現在、高岡市の外国人住民人口は4千人を超え、人口比2.4%と過去最高レベルに達しています。そんな中、アレッセ高岡は、学習支援事業、情報支援事業、市民性教育事業の大きく3つの事業を展開し、多文化共生社会の実現を目指して活動しています。



学習支援事業では、今年度、対面・オンラインの教室を合わせて44名の子ども・若者たち（ブラジル、パキスタン、フィリピン、中国、ポリビア、韓国など）の学びを支援してきました。うち7名が受験生で、6名は無事私立高校に入学できましたが、1名は県立定時制高校から受験可否に遭うなど、残念ながら富山県はまだ受け入れ体制が整っていないことを感じています。

情報支援事業では、高岡市・富山市・射水市の3か所で高校進学説明会を開催したり、アレッセで作成した各種多言語資料を配布したりしました。中でも小学校入学ガイドやムスリムのための中学校編入学ガイド、子育てガイドブックは、富山県内のみならず他県からも活用しているという声を聞いており、嬉しく思っています。

市民性教育事業では、高岡に住むパキスタン人の女の子を講師に迎え、イスラム教徒の人とともに避難所生活を送ることになったときの対応などを共に考え、ハラールの非常食を試食するイベントを開催しました。1月に起こった能登半島地震では、ハラール非常食を要するような避難生活を送った外国人住民は高岡にいなかったようですが、日頃の訓練や交流がいかにか大切かを思い知らされ、今後も防災をテーマにした講座やワークショップを継続していきたいと決意を新たにしました。



今年度の新たなチャレンジとしては、「外国人散在地域における学びの選択肢創造プロジェクト」という名の下に、調査・提言事業を行ったことが挙げられます。パキスタン、ブラジル、中国、フィリピン、ロシア、イギリス、ペルー、日本をルーツに持つ若者たち計20名が調査員等となって、13歳以上の全ての県民を対象に、学びや学び直しに関するアンケートやインタビューを行いました。大学の先生の指導も受けながら勉強会や会議を重ね、データと奮闘しながら10の提言にまとめ上げ、12月28日には



新年度の新たなチャレンジとしては、「外国人散在地域における学びの選択肢創造プロジェクト」という名の下に、調査・提言事業を行ったことが挙げられます。パキスタン、ブラジル、中国、フィリピン、ロシア、イギリス、ペルー、日本をルーツに持つ若者たち計20名が調査員等となって、13歳以上の全ての県民を対象に、学びや学び直しに関するアンケートやインタビューを行いました。大学の先生の指導も受けながら勉強会や会議を重ね、データと奮闘しながら10の提言にまとめ上げ、12月28日には

新年度の新たなチャレンジとしては、「外国人散在地域における学びの選択肢創造プロジェクト」という名の下に、調査・提言事業を行ったことが挙げられます。パキスタン、ブラジル、中国、フィリピン、ロシア、イギリス、ペルー、日本をルーツに持つ若者たち計20名が調査員等となって、13歳以上の全ての県民を対象に、学びや学び直しに関するアンケートやインタビューを行いました。大学の先生の指導も受けながら勉強会や会議を重ね、データと奮闘しながら10の提言にまとめ上げ、12月28日には

新田県知事に直接提言書を提出しました。



データをもとに県民の学びのニーズを明らかにすることができたのみならず、この調査・提言のプロセスで外国ルーツ調査員自身が大きく成長し、その可能性の大きさを知らしめてくれました。人にとっての「学ぶ」と「働く」のベクトルが本来同じであることに気づけたことも、大きな収穫でした。

今後は、外国ルーツの若者たちとともに、提言の内容を実現させるための活動を展開していく予定です。特に、外国ルーツの若者たちが地域の「働く」場で活躍できるような人材育成や啓蒙活動を進めていきたいと思っています。高岡北ロータリークラブの皆様、ぜひお力をお借りできれば幸いです。

## = 現・次期合同理事会の報告 =

### 《今年度》

#### 1. 能登半島地震に対する支援金→承認

- ・送金締め切り3月29日（金）
- 3/4 開催のバスト会長会議結果について
- ・ガバナー事務所への義援金は1人3,000円集め、合計10万円となるようにクラブから捻出
- ・45周年は簡易的にして、45周年事業の前倒しで高岡市へ寄付をする

#### 2. 各種団体への寄付について→承認

- ①万葉集朗唱の会協賛金（10,000円）
- ②植樹例会：おとぎの森公園（110,000円）  
（クラブ負担60,000円、地区補助金50,000円）
- ③アレッセ高岡への支援（100,000円）  
（クラブ負担50,000円、地区補助金50,000円）
- ④オタヤこども食堂への支援（100,000円）  
（クラブ負担50,000円、地区補助金50,000円）

#### 3. その他→35周年式典時同様

- ・4月6日（土）挙行 高岡万葉RC創立35周年記念式典祝儀について

### 《次年度》

#### 1. 理事役員委員会構成（案）について→承認

#### 2. 地区補助金申請について→承認

- ・受付期間：2024.1.29～3.22迄
- ・限度額：¥211,500

- ①アレッセ高岡への支援
- ②オタヤこども食堂への支援
- ③植樹活動

→半額以上をクラブ負担しなければならない。  
→3年以上続けて受益者が同じであってはならない。

#### 3. 合同例会について→承認

- ・高岡万葉RCとの合同例会（ホスト：高岡万葉RC）
- ・高岡西RCとの合同例会（ホスト：高岡北RC）